



令和2年10月28日

武豊町長 舩山芳輝様

武豊町行政改革推進委員会
会長 天木一馬

武豊町第7次行革プランについて（答申）

令和2年8月5日付け武総発第128号で諮問のありました武豊町第7次行革プラン（案）について、本委員会において慎重に審議を重ねた結果、次のとおり答申します。

武豊町第7次行革プラン（案）は、社会経済や地域環境の変化を予測する中、「住民サービスの向上」、「業務の効率化・適正化」、「持続可能な行政運営」の3つを基本目標に、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すSDGsの理念をも意識した取組項目となっており、おおむね妥当であるとの結論を得ました。

なお、本プランの推進にあたっては、全庁・全職員の一丸となった積極的な取組を要望するとともに、下記の点に十分配慮されるよう申し添えます。

記

- 少子高齢化社会や公共施設の老朽化など、これからの行財政運営は大変厳しい状況が見込まれている。今後も、財政基盤の確立、公共施設の適正化など、持続的で安定した行政運営に努め、よりよい住民サービスを提供できるように努めること。
- 「受益と負担の適正化」における減免制度の見直しについては、施設等を使用する団体や個人等の状況に鑑み、「公共施設の使用料設定に関する基本方針」に沿って引き続き検討をすること。